

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 24 期 162 号

会報



総主題「神の恵みによって共に生きる」
副主題「喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める」

2021. 4. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14
発行者 中原 通江
編集者 澤田小枝子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

「わたしたちはキリストと共に死んだのなら、
キリストと共に生きることにもなると信じます。」
ローマの信徒への手紙 6章8節

あなたへ



めげないでいること

日本福音ルーテル教会総会議長
大阪教会 牧師 大柴 讓治

創世記32章にはヤコブが何者かと朝まで格闘する場面が出てきます。それは実は神との格闘でした。夜明け頃になってもそれは続きますが、ヤコブは祝福を得るまでとは、しぶとく相手を放そうとしません。彼はそこで「神と人と闘って勝つ」という意味を持つ「イスラエル」という新しい名を与えられてゆくのです。しかしよく読んでみるとヤコブは決して「神と人」とに「勝った」とは言えません。せいぜい「引き分け」であり「負けなかった」だけです。しかし神はそれを「ヤコブの勝利」と宣言されている。これは重要な点と思われまます。

私たちがも人生の中で様々な格闘を体験します。昨年から私たちはCOVID-19と先の見えないしんどい格闘を続けてきました。ワクチン接種は始まりですが、まだまだ終息が見えない。聖書は私たちに「引き分けでよい。勝たなくてもよい」と告げています。どのような状況に置かれても、しぶとくしなやかに、そしてめげずに耐え抜くこと。それを聖書は教えている。同時にキリストにおける「再起（復活）の希望」を告げています。必ずこの状況はいつか終わりを迎える。明けぬ夜はないし、雨後の陽光に虹は出るので。この格闘は孤立無援の闘いではありません。世界中が連帯して祈り合い、励まし合いながら格闘が続けられている。そのような祈りのネットワーク（網仕事）の中で、私たちがめげることなく共に祈りを合わせてゆきたいのです。祝福をお祈りいたします。